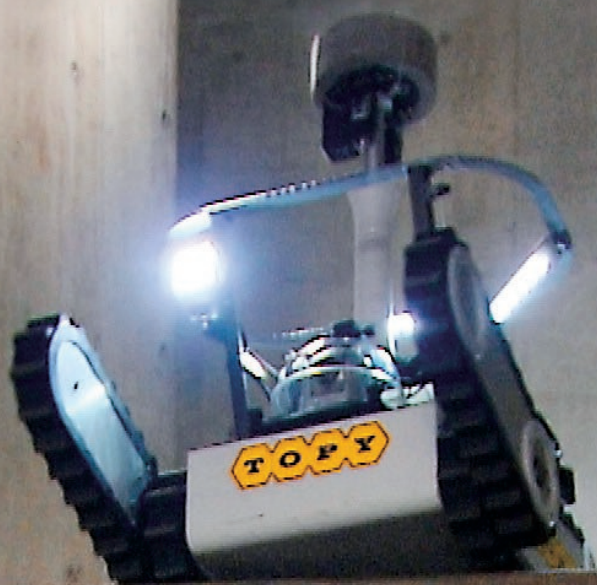


第118期

株主の皆様へ

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで



トピー工業株式会社

<http://www.topy.co.jp>

証券コード 7231



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り
厚く御礼申しあげます。
ここに、第118期の 営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受け急激に悪化したものの、サプライチェーンの復旧に伴い鉱工業生産や個人消費は緩やかに回復してまいりました。しかしながら、歴史的な円高の進展やタイの洪水被害、欧州債務危機の顕在化、新興国の成長の鈍化の影響により、期央より景気は不透明な状況となりました。

このような状況下、当社グループは、海外生産拠点における現地調達への拡大や需要に応じた生産体制の構築、生産性の向上等のコスト改善に取り組んでまいりました。さらに、継続的に需要拡大が見込まれる建機用足回り部品の履板や鉱山向け超大型ホイール、トラック用ホイール生産の最上流工程となる豊橋製造所(愛知県豊橋市)の製鋼設備の新鋭化を決定しました。また、拡大する海外市場への対応に取り組むべく履帯の中国第二の生産拠点であるトピー履帯(中国)有限公司(中国山東省)及び工業用ファスナーのベトナム生産工場のトピーファスナー・ベトナム・カンパニー・リミテッド(ベトナム フンイエン省)を設立し、企業価値のさらなる向上に努めてまいりました。

その結果、日鉄トピーブリッジ株式会社の解散決定に伴う持分法投資損失が発生したものの、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高2,405億3千4百万円(前期比8.6%増)、営業利益105億5千4百万円(前期比50.6%増)、経常利益73億4百万円

(前期比39.3%増)、当期純利益39億1千8百万円(前期比89.0%増)を計上することができました。

当連結会計年度の期末配当金につきましては、株主の皆様への安定的な配当継続等を総合的に勘案し、1株当たり2円といたしました。これにより、中間配当金を含めた年間配当金は、1株につき4円となります。

今後のわが国経済の見通しにつきましては、震災復興需要の本格化や各種の政策効果等を背景に景気の持ち直しが期待されるものの、欧州債務危機や原油高、海外景気の下振れ等により、予断を許さない状況が継続するものと思われまます。

このような経営環境下、当社グループは、海外市場への確実な事業展開と国内事業基盤の再構築を図り、企業価値の一層の向上に努めてまいります。今後も、コーポレートメッセージ「One-piece Cycle」が表す「素材から製品までの一貫生産」の優位性を発揮し、トピー工業グループの一貫利益の追求とさらなる躍進を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役社長 藤井康雄

事業別セグメントの営業概況

鉄鋼事業

鉄鋼業界は、造船、自動車等製造業向け国内需要や円高の影響を受けた輸出が低調に推移し、粗鋼生産量は前年度を下回りました。また、電炉業界においても、主要市場である土木・建築向け需要が引き続き低迷し、厳しい環境となりました。

このような状況下、当社グループは、輸出や建機用足回り部品の需要が落ち込んだものの、土木・建築向け鋼材の販売数量の確保に取り組むとともに、適正な販売価格の形成にも努めてまいりました。その結果、売上高は712億7千1百万円(前期比6.0%増)、営業利益は38億3千3百万円(前期比42.3%増)を計上することができました。

今後も、顧客ニーズを的確に捉え、新製品・高付加価値品の拡販に努めるとともに、本年9月の豊橋製造所酸素プラントの稼働等により、引き続きコスト削減にも取り組んでまいります。また、新鋭製鋼設備の2015年稼働開始を目指し、着実に建設を進めてまいります。

自動車・産業機械部品事業

建設機械業界は、中国需要が金融引き締めにより減退したものの、インフラ整備や資源開発等の海外需要に加え、国内での震災復興需要に支えられ、引き続き堅調に推移いたしました。また、自動車業界は、東日本大震災やタイ洪水被害を受けたサプライチェーンの急ピッチな復旧とともにエコカー補助金等の効果が相俟って、国内生産台数は前年度を上回る水準まで回復いたしました。

このような状況下、当社グループは、鉱山向け超大型ホイールの販売が好調を維持するとともに、建機用足回り部品は中国需要が落ち込んだものの他地域の旺盛な需要により底堅く推移いたしました。自動車用ホイールにつきましては、期央からの自動車国内生産の持ち直しに伴い、トラック用を中心に需要が順調に回復いたしました。また、徹底的なコスト管理等のあらゆる改善諸施策に継続して取り組んでまいりました。その結果、売上高は1,540億3千1百万円(前期比10.8%増)、営業利益は103億9千2百万円(前期比35.5%増)を計上することができました。

今後も、「世界トップクラスの総合ホイールメーカー」としてのプレゼンスをさらに高めるとともに、「建設機械の総合足回り部品メーカー」としての地位確立に邁進してまいります。さらに、厳しい事業環境下においても、利益を確保

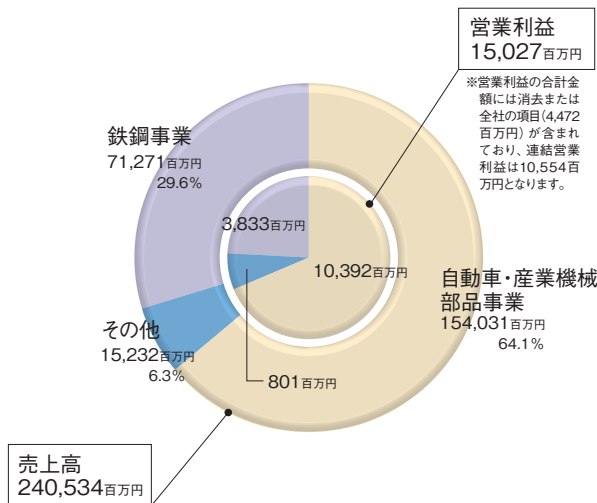
できる体質とすべく、一層のコスト削減に努めてまいります。また、中国や東南アジアにおける生産拠点の拡充や海外提携先との連携強化により、グローバルでの最適生産体制の構築に取り組んでまいります。

その他

電力卸供給事業、屋内外サインシステム事業、化粧品等に使用される合成マイカの製造販売、LEDディスプレイ及びクローラーロボットの製作販売、土木・建築事業、「トビレックプラザ」(東京都江東区南砂)等の不動産賃貸、スポーツクラブ「OSSO(オッソ)」の運営等を行っております。売上高は152億3千2百万円、営業利益は8億1百万円を計上することができました。

なお、新開発のクローラーロボット「Survey RunnerTM(サーベイランナー)」が、福島第一原発の内部探査で成果を挙げております。今後も高い機動性と信頼性が求められる移動型ロボット用足回りへのユーザーニーズに応え、あらゆる場面で人のために役立つロボットの実用化に貢献してまいります。

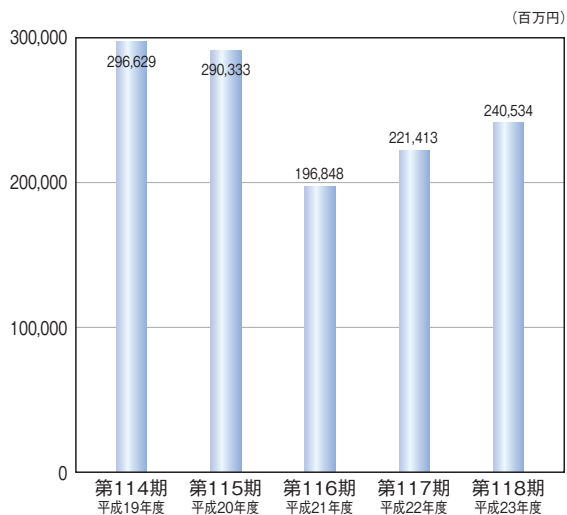
事業別セグメントの売上高・営業利益



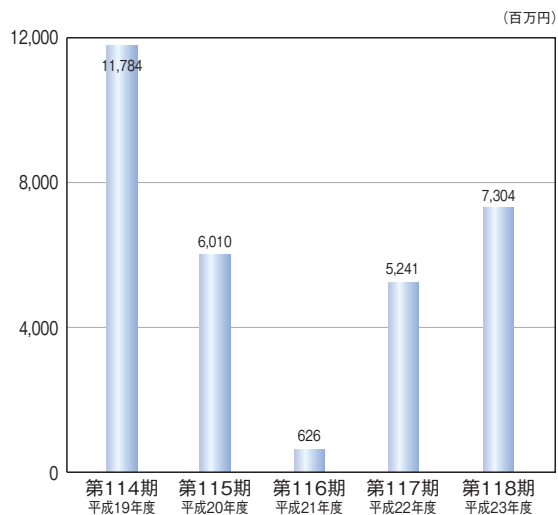
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

業績ハイライト

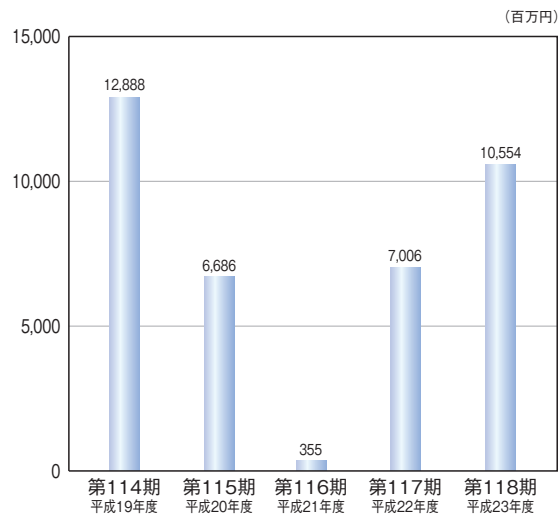
売上高



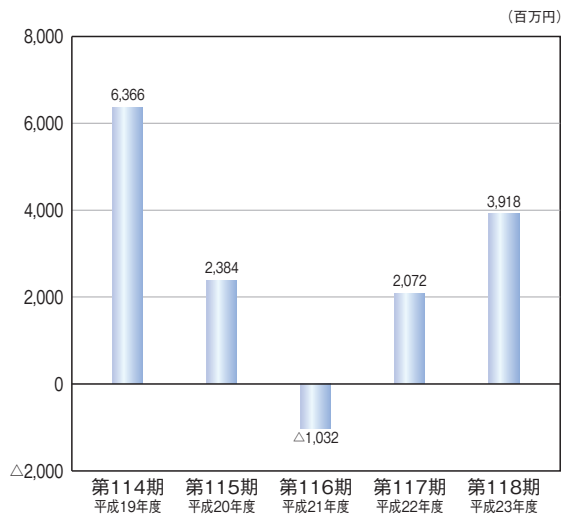
経常利益



営業利益



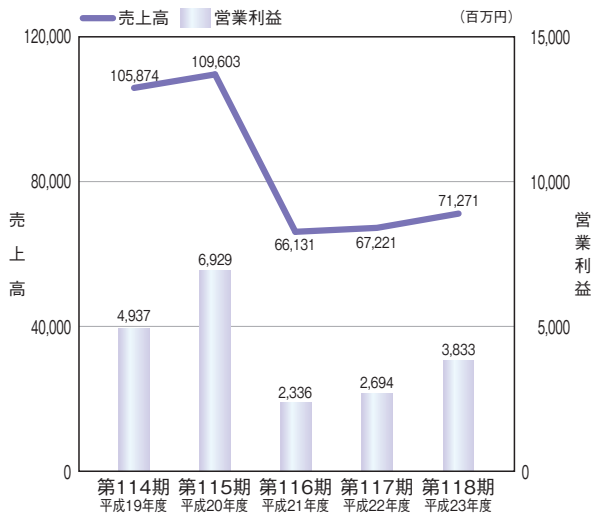
当期純利益



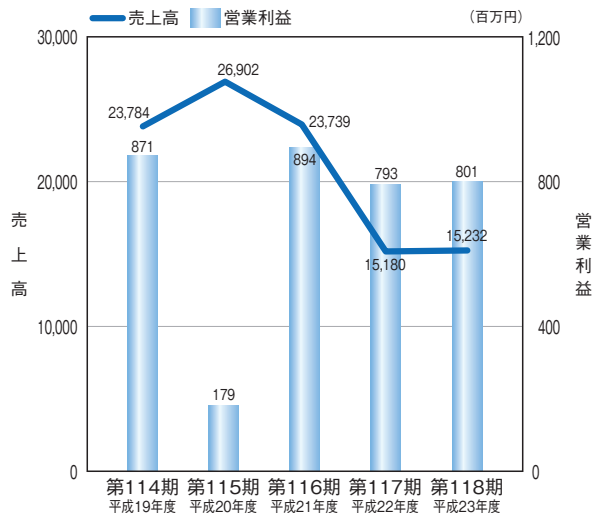
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

業績ハイライト

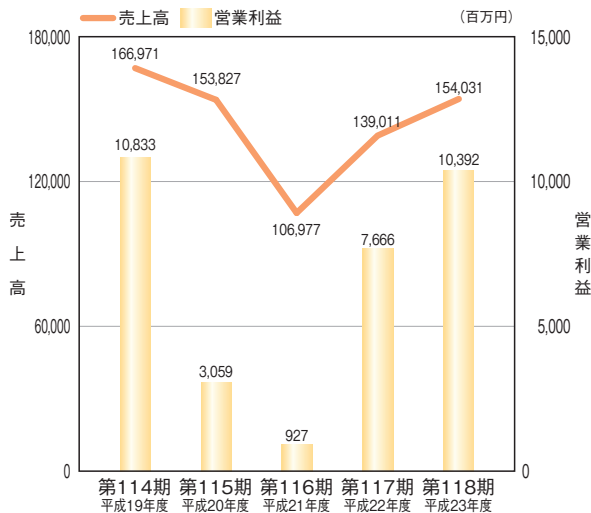
鉄鋼事業



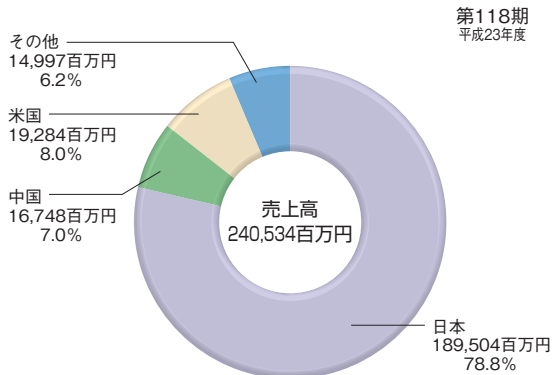
その他



自動車・産業機械部品事業



地域別の売上高



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	111,936	流動負債	83,261
現金及び預金	22,232	支払手形及び買掛金	44,338
受取手形及び売掛金	56,891	短期借入金	25,044
商品及び製品	13,129	一年以内償還予定社債	300
仕掛品	4,319	リース債務	77
原材料及び貯蔵品	8,380	未払法人税等	2,616
繰延税金資産	2,113	その他	10,883
その他	4,918	固定負債	46,470
貸倒引当金	△50	社債	13,900
固定資産	100,891	長期借入金	18,846
有形固定資産	71,930	リース債務	797
建物及び構築物	22,999	繰延税金負債	86
機械装置及び運搬具	25,831	退職給付引当金	6,473
土地	17,681	役員退職慰労引当金	896
リース資産	875	定期修繕引当金	473
建設仮勘定	3,019	資産除去債務	260
その他	1,522	持分法適用に伴う負債	949
無形固定資産	1,525	その他	3,786
投資その他の資産	27,435	負債合計	129,731
投資有価証券	21,779	(純資産の部)	
長期貸付金	594	株主資本	86,739
繰延税金資産	3,135	資本金	20,983
その他	1,984	資本剰余金	18,824
貸倒引当金	△57	利益剰余金	47,794
資産合計	212,828	自己株式	△863
		その他の包括利益累計額	△4,349
		その他有価証券評価差額金	1,216
		繰延ヘッジ損益	△2
		為替換算調整勘定	△5,563
		少数株主持分	706
		純資産合計	83,096
		負債・純資産合計	212,828

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円)

科目	金額
売上	240,534
売上原価	203,258
売上総利益	37,276
販売費及び一般管理費	26,722
営業利益	10,554
営業外収益	946
受取利息	43
受取配当金	362
負ののれん償却額	114
その他	426
営業外費用	4,197
支払利息	1,016
為替差損	87
持分法による投資損失	2,509
その他	582
経常利益	7,304
特別利益	71
固定資産売却益	66
その他	5
特別損失	1,257
固定資産売却損	372
固定資産除却損	442
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩額	317
その他	125
税金等調整前当期純利益	6,118
法人税、住民税及び事業税	3,332
法人税等調整額	△1,312
少数株主損益調整前当期純利益	4,098
少数株主利益(控除)	180
当期純利益	3,918

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結株主資本等変動計算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円)

株主資本等	資本金	当期首残高	20,983
		当期変動額	
		当期変動額合計	-
		当期末残高	20,983
	資本剰余金	当期首残高	18,824
		当期変動額	
		自己株式の処分	△0
		当期変動額合計	△0
	利益剰余金	当期首残高	45,299
		当期変動額	
		剰余金の配当	△1,423
		当期純利益	3,918
	自己株式	当期首残高	△859
		当期変動額	
		自己株式の取得	△3
		自己株式の処分	0
	株主資本合計	当期首残高	84,247
		当期変動額	
		剰余金の配当	△1,423
当期純利益		3,918	
資本剰余金	自己株式の取得	△3	
	自己株式の処分	0	
	当期変動額合計	2,491	
	当期末残高	86,739	

(単位：百万円)

その他の包括利益累計額	その他有価証券評価差額金	当期首残高	937
	当期変動額		
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	279	
	当期変動額合計	279	
その他の包括利益	繰延ヘッジ損益	当期首残高	1
	当期変動額		
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3	
	当期変動額合計	△3	
為替換算調整勘定	当期首残高	△5,686	
	当期変動額		
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	123	
	当期変動額合計	123	
その他の包括利益累計額合計	当期首残高	△4,747	
	当期変動額		
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	398	
	当期変動額合計	398	
少数株主持分	当期首残高	665	
	当期変動額		
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	41	
	当期変動額合計	41	
純資産合計	当期首残高	80,165	
	当期変動額		
	剰余金の配当	△1,423	
	当期純利益	3,918	
純資産合計	自己株式の取得	△3	
	自己株式の処分	0	
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	440	
	当期変動額合計	2,931	
当期末残高	83,096		

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表(単体)

(平成24年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	79,697	流動負債	66,021
現金及び預金	8,042	支払手形	523
受取手形	517	買掛金	36,856
売掛金	49,315	短期借入金	11,483
商品及び製品	7,165	一年以内返済予定長期借入金	4,315
仕掛品	2,662	リース債務	0
原材料及び貯蔵品	5,018	未払金	3,929
前払費用	500	未払法人税等	1,931
短期貸付金	951	未払費用	1,941
繰延税金資産	1,192	前受金	323
未収入金	4,092	預り金	4,300
その他	274	その他	416
貸倒引当金	△37	固定負債	38,978
固定資産	86,431	社債	13,000
有形固定資産	48,671	長期借入金	16,020
建物	14,445	リース債務	0
構築物	2,594	長期預り金	3,402
機械及び装置	18,498	退職給付引当金	4,265
車両運搬具	13	役員退職慰労引当金	404
工具・器具及び備品	805	資産除去債務	199
土地	11,487	関係会社投資等損失引当金	1,305
リース資産	0	その他	381
建設仮勘定	826	負債合計	104,999
無形固定資産	123	(純資産の部)	
投資その他の資産	37,636	株主資本	60,053
投資有価証券	14,240	資本金	20,983
関係会社株式	15,066	資本剰余金	18,824
関係会社出資金	4,974	資本準備金	18,528
長期貸付金	455	その他資本剰余金	295
繰延税金資産	1,637	利益剰余金	21,104
その他	1,289	その他利益剰余金	21,104
貸倒引当金	△26	固定資産圧縮積立金	265
資産合計	166,129	繰越利益剰余金	20,838
		自己株式	△857
		評価・換算差額等	1,075
		その他有価証券評価差額金	1,075
		純資産合計	61,129
		負債・純資産合計	166,129

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

損益計算書(単体)

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円)

科目	金額	金額
売上	161,788	
売上原価	140,548	
売上総利益	21,239	
販売費及び一般管理費	15,060	
営業利益	6,179	
営業外収益	1,362	
受取利息及び配当金	1,172	
その他	189	
営業外費用	1,090	
支払利息	538	
社債利息	211	
その他	340	
経常利益	6,452	
特別利益	250	
固定資産売却益	6	
関係会社清算益	238	
その他	5	
特別損失	4,187	
固定資産売却損	0	
固定資産除却損	326	
関係会社株式評価損	2,527	
関係会社投資等損失引当金繰入額	1,305	
その他	27	
税引前当期純利益	2,515	
法人税、住民税及び事業税	2,051	
法人税等調整額	△1,316	735
当期純利益	1,780	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

株主資本等変動計算書(単体)

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円)

株主資本	資本金	当期首残高	20,983
		当期変動額	
		当期変動額合計	-
		当期末残高	20,983
	資本準備金	当期首残高	18,528
		当期変動額	
		当期変動額合計	-
	資本剰余金	当期首残高	295
		当期変動額	
		自己株式の処分	△0
当期変動額合計		△0	
資本剰余金合計	当期首残高	18,824	
	当期変動額		
	自己株式の処分	△0	
	当期変動額合計	△0	
資本利益剰余金	その 他の 資本 剰余 金	固定資産圧縮積立金	
		当期首残高	254
		当期変動額	
		税率変更に伴う固定資産圧縮積立金の変動額	19
	繰越利益剰余金	固定資産圧縮積立金の取崩	△8
		当期変動額合計	10
		当期末残高	265
		繰越利益剰余金	
	利益剰余金	当期首残高	20,493
		当期変動額	
税率変更に伴う固定資産圧縮積立金の変動額		△19	
固定資産圧縮積立金の取崩		8	
剰余金の配当		△1,423	
当期純利益		1,780	
当期変動額合計		345	
当期末残高		20,838	

(単位：百万円)

株主資本	利益剰余金	当期首残高	20,747
		当期変動額	
		剰余金の配当	△1,423
		当期純利益	1,780
	自己株式	当期変動額合計	356
		当期末残高	21,104
		当期首残高	△854
		当期変動額	
	株主資本合計	自己株式の取得	△3
		自己株式の処分	0
当期変動額合計		△3	
当期末残高		△857	
評価・換算差額等	株主資本	当期首残高	59,700
		当期変動額	
		剰余金の配当	△1,423
		当期純利益	1,780
	純資産合計	自己株式の取得	△3
		自己株式の処分	0
		当期変動額合計	353
		当期末残高	60,053
	その他の 評価差額	当期首残高	877
		当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		197	
当期変動額合計		197	
評価・換算差額等	当期末残高	1,075	
	当期首残高	877	
	当期変動額		
	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	197	
純資産合計	当期変動額合計	197	
	当期末残高	1,075	
	当期首残高	60,578	
	当期変動額		
	剰余金の配当	△1,423	
	当期純利益	1,780	
	自己株式の取得	△3	
	自己株式の処分	0	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	197		
純資産合計	当期変動額合計	550	
	当期末残高	61,129	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■トピー工業グループ新中期経営計画

“Growth & Change 2015”(G&C 2015)スタート
ーグローバルでの“成長”と高収益体質への“変革”ー

1.基本方針

当社グループは、このほど2012年度から2015年度を実行期間とする新中期連結経営計画“Growth & Change 2015”(G&C 2015)を策定し、スタートさせました。“G&C 2015”は、グローバルでの“成長”と高収益体質への“変革”を基本方針として、新興国需要の拡大と国内経済の成熟化へ対応する事業基盤の強化により、さらなる成長へつなげるものです。そして、独創性にあふれる当社グループ製品の強みを活かし、成長が見込まれる海外市場に対して積極的に事業展開を図るとともに、国内のモノづくり基盤を強固なものとする事で、環境変化に強い事業構造を確立してまいります。

2.数値目標指標と計数計画

(1)数値目標

	2011年度 実績	2015年度 目標	増 減
売上高営業利益率	4.4%	6.4%	+2.0%
自己資本利益率 (ROE)	4.8%	9.6%	+4.8%
総資産利益率 (ROA)	5.3%	7.3%	+2.0%
D/Eレシオ	0.71	0.66	△0.05

(2)計数計画

	2011年度 実績	2015年度 目標	増 減
売上高	2,405億円	2,815億円	+410億円
(海外売上高比率)	21%	25%	+4%
営業利益	106億円	180億円	+74億円
当期純利益	39億円	100億円	+61億円

投資は、4年間で約670億円を計画しております。そのうち、製鋼設備の新鋭化には約280億円、海外投資は約180億円を予定しております。

3.重点テーマ

(1)海外事業の拡充(量的成長)

現在、新興国では、インフラ整備を精力的に進めており、それに伴い建設機械及び自動車需要が拡大しています。当社グループの主要な事業分野である自動車・産業機械部品事業では、世界的にも高いシェアを有している建機用足回り部品の履帯や鉱山向け超大型ホイール、自動車用ホイールを製造しています。“G&C 2015”では、これらの製品のグローバルでの需要に対し、シェアの維持・拡大とコスト競争力を持った供給体制を強化してまいります。

- ・トピー履帯(中国)有限公司の稼働開始(2012年10月)
- ・天津トピー機械有限公司の稼働開始(2012年10月)
- ・トピーファスナー・ベトナム・カンパニー・リミテッドの稼働開始(2012年11月)
- ・海外提携先との連携強化
- ・主要顧客の海外展開に伴うグローバル供給体制の強化

●新海外生産拠点



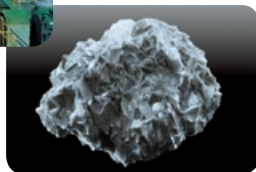
(2) 国内事業基盤の強化(質的変革)

今後、国内の需要は停滞が見込まれますが、当社グループが長年にわたり培ってきた製品設計・生産技術を活かして、国内市場における競争力を一層強化してまいります。製鋼設備の新鋭化による製造コストの抜本的改善をはじめ、生産性の向上(「つくりの変革」)、原価低減活動の深化に取り組めます。また、当社グループならではの戦略製品・高付加価値製品の開発と拡販に努めてまいります。

- ・豊橋製造所 新製鋼設備の稼働開始(2015年4月)
- ・異形形鋼、鉾山向け超大型ホイール、超軽量ホイール、高付加価値ファスナー、合成マイカ、ロボットなどの拡販



クロスカウンター圧延機群



合成マイカ

(3) 経営の高度化

業務プロセスの改革とグローバルでのグループ経営の高度化を推進いたします。また、新製品・新製法などグローバルで戦える技術力の強化とリスクマネジメントシステムの深化にも取り組めます。

4. セグメント別施策

(1) 鉄鋼事業

製鋼設備の新鋭化により、圧倒的に低い電力原単位の実現や生産性・品質の向上、環境コストの低減を図るとともに、鉄源を完全自給化し、コスト競争力を強化いたします。また、原料調達から製品納入までの一貫生産コストを低減すべく、グループ一体となった効率化を進め、収益の向上を図ってまいります。

国内トップレベルのコスト競争力を備え、独自性のある異形形鋼を武器に業界のリーディングカンパニーを目指します。

(2) 自動車・産業機械部品事業

海外需要の拡大に応え、生産拠点の現地化と生産能力の増強、海外提携先との連携強化に取り組み、販売を拡大してまいります。また、顧客ニーズに対応した商品展開と高生産性ラインを構築し、事業基盤を強化してまいります。

国内事業の収益確保と海外事業展開を推進して事業収益構造を転換し、世界トップクラスの総合ホイールメーカー及び履板・履帯のリーディングカンパニーとしての地位を強化いたします。

(3) その他

科学、エネルギー、サービスと多岐にわたる事業展開の中で、顧客ニーズを捉えた商品開発による拡販に取り組んでまいります。



当社製品群

■豊橋製造所の製鋼設備の新鋭化

当社は、豊橋製造所(愛知県)の製鋼設備を新鋭化することを決定いたしました。約280億円を投資し電気炉と連続鋳造設備、その他付帯設備を新設いたします。2013年3月に着工し、2015年4月より本格操業を開始する予定です。

今回の投資により、圧倒的に低い電力原単位の実現や生産性の向上を図るとともに、棒鋼素材の自社製鋼化も行うことにより、コスト競争力を強化いたします。また、地震・津波対策を実施し、サプライチェーンの重責を担います。今回の製鋼設備の新鋭化により、国際競争力を一層強化することで、拡大する輸送用機器関連製品の需要を積極的に取り込み、業績の向上につなげてまいります。



■「最適化ホイール」の開発が顧客より高く評価

プレス事業部では、新ホイール構造によりディスク素材投入重量を削減した「最適化ホイール」の開発が評価され、3月1日に日野自動車株式会社より原価改善優秀賞、4月20日には、いすゞ自動車株式会社から原価改善優良賞を受賞いたしました。現在、トラック需要が旺盛な新興国では低価格製品が求められ、当社のトラック用ホイールも、新興国ホイールメーカーと競合できるグローバル価格品が要求されています。今後も、新技術開発による一層のコスト削減に努め、グローバルサプライヤーとしてのプレゼンスをさらに高めてまいります。



■鉱山向け超大型ホイールの部品生産子会社を中国に設立

当社グループは、鉱山向け超大型ホイール(商品名「SGOR®」)において他社の追従を許さない技術力によりお客様から圧倒的な信頼を得ています。

鉱山向けダンプトラック市場は、中国を含めたアジア及びオセアニア地域を中心とした資源開発需要の拡大により、3年後には約3割程度の需要増加が想定されています。国内製造拠点である綾瀬製造所(神奈川県)の生産能力を順次拡大させてまいりましたが、今後さらに拡大する需要に対応するために、SGOR®の部品生産能力増強を目的とした、「天津トピー機械有限公司」を設立することいたしました。この部品生産子会社は2012年10月より稼働する予定で、綾瀬製造所における完成品組立能力を拡大するとともに、部品調達を多様化し、調達リスクの分散化を図ってまいります。今後も、国内製造拠点を中心とした最適グローバル生産体制を構築し、SGOR®事業のさらなる成長を図ってまいります。



■社会福祉団体への寄付

1万株以上ご所有の株主様への当社株主優待*1は、交通傷害保険に加え、フラワープレゼントまたは社会福祉団体への寄付のいずれかを選択いただいております。社会福祉団体への寄付を選択されますと、株主に代わり、当社からフラワープレゼント相当額を寄付いたします。

	2011年9月末株主様	2012年3月末株主様
寄付選択者数	298名	303名
寄付金額	894,000円	909,000円
寄付先	日本赤十字社*2	

※1 株主優待制度の詳細は26ページをご覧ください。

※2 昨年3月に発生した東日本大震災で被災された方々への支援及び被災地の復興に役立てていただくための義捐金として日本赤十字社に寄付させていただきます。

株式の状況

(平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数 883,000,000株

発行済株式総数 240,775,103株

株主総数 16,636名

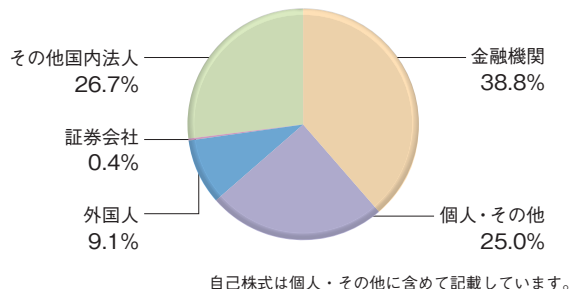
大株主一覧(上位10名)

株主名	株数(千株)	持株比率(%)
新日本製鐵株式会社	48,182	20.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,724	7.05
明治安田生命保険相互会社	9,751	4.11
トビーファンド	9,264	3.90
株式会社みずほコーポレート銀行	7,878	3.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,793	2.86
株式会社りそな銀行	5,909	2.49
株式会社損害保険ジャパン	5,746	2.42
トビー工業社員持株会	5,582	2.35
みずほ信託銀行株式会社	4,893	2.06

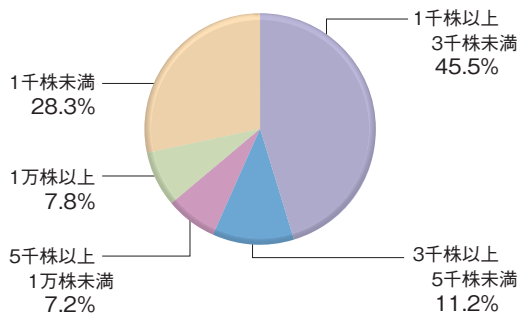
(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
持株比率は、自己株式を控除して算出しています。
トビーファンドは当社及び関係会社取引先持株会の名称です。

株式分布状況

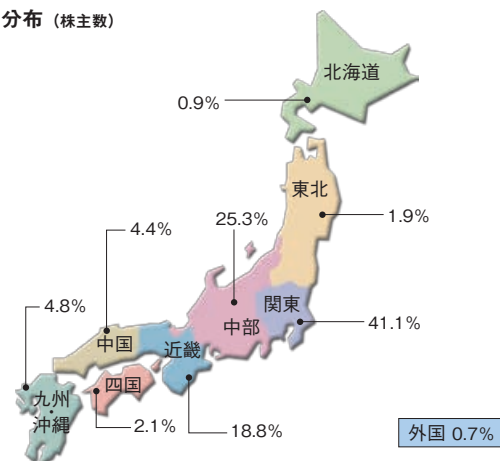
●所有者別分布 (株式数)



●所有株数別分布 (株主数)



●地域別分布 (株主数)



■期末配当金のお支払いについて

当社は、5月22日の取締役会決議により当期末の配当を1株につき2円といたしました。当期の配当金関連書類は、6月6日付で発送しております。配当金領収証により配当金をお受け取りになられる株主様は、7月13日までにゆうちょ銀行全国本支店及び出張所ならびに郵便局でお受け取りください。

(平成24年3月31日現在)

商 号 トピー工業株式会社
 創 立 1921年(大正10年)10月
 資 本 金 20,983百万円
 社 員 数 1,911名

主要な事業所

- 本 社 東京都品川区大崎1-2-2 ☎03-3493-0777(総務部直通)
- 支 店 名古屋支店 名古屋市中区 大阪支店 大阪市中央区
- 生産拠点 豊橋製造所 愛知県豊橋市 豊川製造所 愛知県豊川市
 綾瀬製造所 神奈川県綾瀬市 神奈川製造所 神奈川県茅ヶ崎市
- 研究開発センター 愛知県豊橋市

連結子会社数 18社

役 員

(平成24年6月28日現在)

●取締役

取締役会長 清水良朗
 代表取締役社長 藤井康雄
 取締役副社長 東 彰
 専務取締役 荒井隆司
 専務取締役 金森 豊
 常務取締役 佐原崇彦
 取締役 望月淳夫
 取締役 金子正好
 取締役 谷 俊之
 取締役 齋藤徳夫
 取締役 棚橋 章

●執行役員

小川雄三
 石井泰人
 秋山範雄
 熊澤 智
 木嶋伸一
 竹内一郎
 木下浩幸
 小島 正
 山本 勝

●監査役

常勤監査役 三津間 健
 常勤監査役 黒崎 民雄
 常勤監査役 瀧山 崇
 常勤監査役 能野 基道

基準日

毎年3.9月末日の株主名簿に記載された株主の皆様を対象に、そのご所有株式数に応じて、下記の優待を実施しています。

優待内容

1千株以上 3千株未満ご所有の株主様

●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険
 保険金額:100万円(最高)
 補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
 保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで
 9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約
 保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)

3千株以上 1万株未満ご所有の株主様

●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険
 保険金額:100万円(最高)
 補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
 保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで
 9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約
 保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)
- ・通院特約
 保険金額:1千円/日(90日以内)

1万株以上ご所有の株主様

●交通傷害保険の付保

- ・死亡・後遺障害保険
 保険金額:100万円(最高)
 補償内容:国内・国外を問わず、交通事故による死亡・後遺障害
 保険期間:3月末日の株主名簿記載の株主様 7月1日午前0時から翌年の1月1日午後4時まで
 9月末日の株主名簿記載の株主様 翌年の1月1日午前0時から7月1日午後4時まで
- ・入院特約
 保険金額:3千円/日(入院1日目から給付し、1,000日以内)
- ・通院特約
 保険金額:1千円/日(90日以内)

●フラワープレゼント または 社会福祉団体への寄付

- 3月末日の株主名簿記載の株主様 6月実施
- 9月末日の株主名簿記載の株主様 12月実施

その他

当保険は保険業法における傷害総合保険普通保険約款交通事故傷害危険のみ担保特約が適用されます。

なお、保険の内容についてのお問い合わせ、事故のときのご連絡は、下記事務局までお願いします。

トピー工業株主様自動付帯交通傷害保険サポート事務局
 株式会社トピーエージェンシー
 TEL.03-5436-0212 FAX.03-5436-0215



株主メモ

- 決算期 3月31日
- 定時株主総会 6月
- 基準日 3月31日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 期末配当金受領者
確定日 3月31日
- 中間配当金受領者
確定日 9月30日(中間配当をする場合)
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(特別口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031(フリーダイヤル)
- 公告方法 電子公告(当社ホームページ掲載)
※やむを得ない事由により電子公告ができない場合、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■表紙写真 福島第一原発の復旧支援を行う探査ロボットを開発

サイエンス事業部は、福島第一原発の復旧作業を支援する探査ロボット「Survey Runner™(サーベイランナー)」を開発しました。「Survey Runner™」は、大幅な小型化を実現し、角度45°、幅70cmの濡れて滑りやすい階段を確実に昇降することができます。

4月18日には、福島第一原発2号機トラス室を探索し、現場状況の把握に成果を挙げました。今後も高い機動性と信頼性が求められる移動型ロボット用足回りへのユーザーニーズに応え、あらゆる場面で人のために役立つロボットの実用化に貢献してまいります。



One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。

